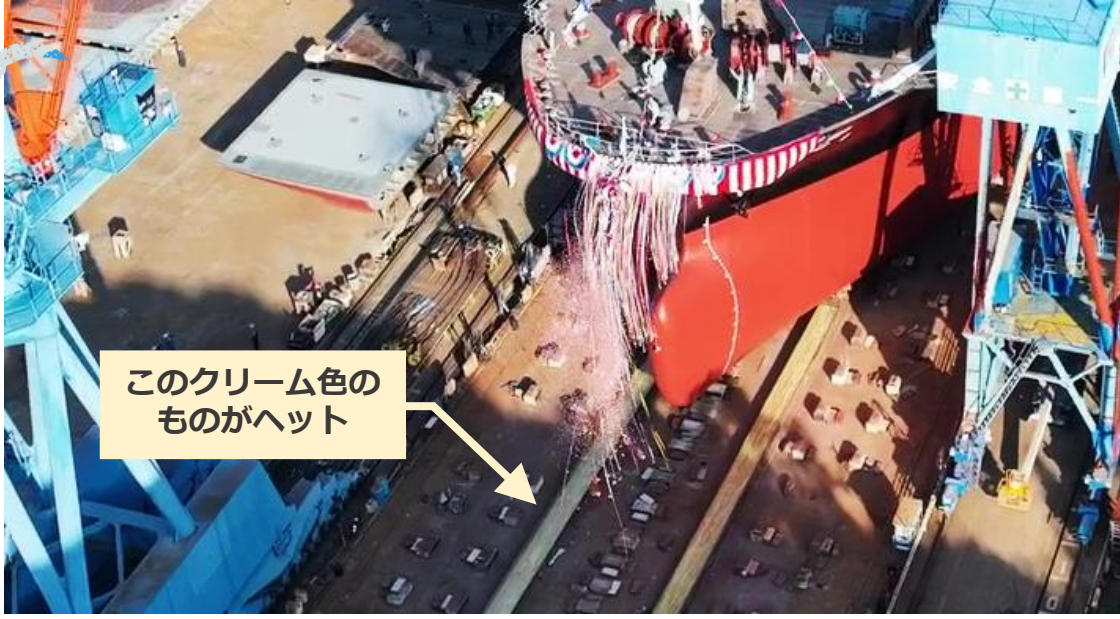
ここが見どころ！
本田重工業 進水式



【ヘット方式】

当社の船台方式は「**ヘット方式**」です。この方式は「ヘット」という環境に優しい獣脂を塗ったレール上を滑らせる進水方式です。（現在の主流はプール方式で、他にもボール方式などがあります。）この方式での進水は、今では**全国でも数社のみ**でしか見られません。

【特徴】

とにかく静か！！

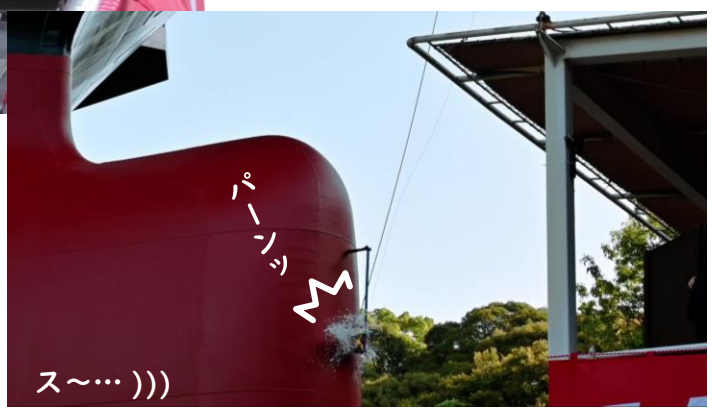
静寂の中、長大な構造物が海に向かって滑走し、スローモーションのように漂うテープと、紙吹雪、チェーンの音を轟かせながら降りる錨。数秒のドラマチックな時間をお楽しみください。

進水の瞬間ってどんなことが起きてるの？



①「支綱切断」の号令とともに支綱切断者（*女性）が斧を振り下ろし、支綱を切断します。

*女性…船の進水は人間でいうとお産に例えられ、へその緒を切るという意味合いを持つとも言われ、ほとんどの場合、女性が支綱切断を行います。また、これをもとに、昔から切断された支綱は安産のお守りになるとされています。



②*シャンパンが割れ、船は海へと滑走を開始します。

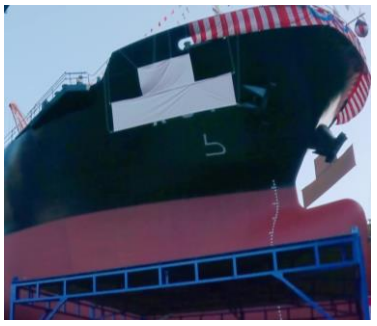
*シャンパン…少～し怖い話ですが、ヴァイキングの時代には、祝いの生贄として人を捧げていたそうです。その後、血を連想させる赤ワイン→白ワイン→シャンパンとなったと言われています。

そのほかには？



【式場での神事】

船はその航海の無事を祈り、船主様の信仰する神様にご守護を願います。日本では一般的には、神道に則り、船には神棚を祀り、儀式は神式で祭事が行われます。



【命名】

船には名前が付けられます。（左は命名前の写真）世の中に様々な構造物はありますが、名前を与えられるものはほとんどありません。特に昔は、なるべく「～丸」と名付けるように法律もありました。（平成13年改正）